

B.LEAGUE 第三章、開幕。

いよいよ始まるB.LEAGUE 3シーズン目。

その開幕節で対戦するのが、昨季同地区でシノギを削ったライバル・川崎ブレイベサンダース（以下、川崎）だ。

開幕節の相手が川崎だと聞いた時、昨季の「B.LEAGUE クォーターファイナル」での激戦を思い浮かべたブースターも多いだろう。

ここホーム船橋アリーナでの開催となったクォーターファイナルは、第3戦までもつれ込む白熱した展開に。

セミファイナル進出、その先のリーグ優勝を懸け、最後の最後まで両者一步も譲らない攻守の応酬が繰り広げられた。

前身の東芝時代から幾度もリーグ優勝を経験している強豪は、今季も間違いなく優勝候補に数えられているはずだ。

今季の川崎は、日本代表にも名を連ねる#7 篠山、#14 辻、#22 ファジーカスをはじめ、

#0 藤井、#33 長谷川といった主力選手が揃って残留しており、布陣にほとんど変化はない。さらに、#7 篠山、#14 辻、

#22 ファジーカスの3選手を欠いた「B.LEAGUE EARLY CUP 2018」で#15 谷口、#23 バンバラ若手選手が躍動を見せたほか、

クォーターファイナルでも値千金の一投を決めた#0 藤井がSR渋谷戦で追い上げの流れを作る19得点を挙げたことを考えると、

昨季以上に手強い相手となっている可能性が高い。加えて、今季はオンザコートルールが大きく変更され、

帰化選手と外国籍選手2名が同時に出場できるレギュレーションに。

昨季終盤に帰化を発表し、日本代表のスコアラーにもなった#22 ファジーカスを起点とした攻撃には、

どのクラブも苦戦を強いられることが増えるだろう。

もちろん#22 ファジーカス以外にも得点力のある選手が多い川崎の攻撃力は、今季もリーグトップクラスを誇るものになりそうだ。

とは言え攻撃力の高さでは、千葉も決して負けてはいないだろう。

超攻撃型ポイントガードの#2 富樫を筆頭に、「B.LEAGUE EARLY CUP 2018」で全試合2桁得点を挙げた#3 パーカー、

3Pシュートでチームを援護する#5 田口、#27 石井らシューター陣、

さらにデビュー戦で28得点を記録した新加入の#7 ジョーンズと、チーム全員がポテンシャルを秘めていると言える。

もちろん得意のトランジションオフェンスで波に乗るには、ディフェンスからリズムを作ることが重要だ。

今季もアグレッシブなディフェンスを体現し、そこから主導権を掴みたい。

また、川崎との試合はハイスコアゲームが予想されるだけに、いかに相手の攻撃回数を減らすか、

つまり攻守でリバウンドを制圧できるかも鍵を握るはずだ。

今季は川崎が中地区に移動したこともあり、レギュラーシーズンでの直接対決はこの2試合が最初で最後になる。

リーグ優勝を達成する上でも避けては通れない関門となる川崎から勝利を勝ち取るためには、

大野ヘッドコーチが「ホームでなければ負けていた」と語った、クォーターファイナル第3戦での勝利を後押ししたような

“ホームの力”が必要不可欠だ。

開幕節を連勝で飾り、一気に飛行高度を上げることができるか。

非常に重要な意味を持つこの一節、ぜひとも試合開始から全力のブーストを送ってほしい。

